

令和4年度
学校だより
NO.4



甲府市立大國小学校

大國の子

R4. 7. 20 発行 校長：吉村 実

学校教育目標

「心豊かに、知性を磨き、たくましく
主体的に行動する子どもの育成」

～めざす子どもの姿～

- 思いやりの心を持ち、助け合う子ども
- よく考え、自ら学び 表現する子ども
- 心身ともに健康で、進んで行動する子ども

「 一学期終了！ 夏休みの計画の充実を。 」

～ 経験が人を育てる ～

「4月から、71日間、授業や学年学校行事、そして児童会活動等、様々な活動を通じて、友達と力を合わせながら、心や体を大きく成長させてきたと思います。

この一学期、どんなことをがんばりましたか？自分ががんばったことを考えてみてください。

元気な声で挨拶した人、そうじをだれよりも頑張った人、授業参観で意見を発表できた人、自主学習をたくさんできた人、プールでたくさん泳げた人。いろいろな頑張りを先生は知っています。

そして、そういうがんばりが自分の力になっています。がんばって、すごいことなんですよ。

さて、明日から、いよいよ楽しみな夏休みが始まります。この夏休みは、36日間。何をがんばりますか？

のんびりしすぎるとあっという間に時間が過ぎていきます。始まる前に、しっかりがんばる目標を決めておきましょう。大谷選手もがんばっています。私たちも、その姿を見て、一緒に頑張っていきましょう。

では、二学期の始業式、一回りたくましくなった皆さんに会えることを楽しみにしています。」（一学期終業式あいさつ 抜粋）

子どもたちは、はっきりとした目標を持って、自ら行動することで必ず変わっていき、成長していけるものです。ご家庭でも、もう一度、目標を確認してみてください。これからの目標が確認できたところで、明日からの夏休みの具体的な計画や挑戦課題、何を楽しむかなどもきちんと考え、普段できない体験をたくさんしてほしいと思います。

※保護者の皆さん・地域の皆さんへお願い

夏季休業中は、児童が家庭や地域で過ごすことが多くなります。家族の一員であること、地域の一員であることを強く自覚できる時期でもあります。ご支援・ご指導をよろしくお願いいたします。

○ 14・15日 ラジオ体操講習会

今年も、ラジオ体操講習会を実施しました。大國体育協会ラジオ体操指導者の藤原先生はじめ、8名の先生方がラジオ体操の指導に来てくださいました。1～4年生まで、学年ごとに体育館での実施となりました。1年生は、初めて体験する「正しいラジオ体操」に、一生懸命に集中して取り組んでいました。天候の状況もあり、3・4年生は校庭での予定でしたが、体育館での実施となりました。（今年度5・6年生は雨天中止となりました。）

大國小学校では、ここ数年、ラジオ体操の講習会を継続実施しています。今まで、指導のおかげで、本校のラジオ体操はたいへん充実しています。林間学校での5年生の朝のラジオ体操も、しっかり行うことができましたし、運動会でも、全校で行う予定です。

「継続練習の力」のすばらしさを感じ、今後も続けていきたいと思ひます。



○ 8. 9日 5年生 林間学校実施！

5年生の林間学校がハヶ岳少年自然の家で予定通り実施されました。雄大な自然環境の下、多くの体験活動が行われました。最近の子どもたちは、経験不足が課題となっています。今回の林間学校では、「大自然の中で、みんなと一緒になければできない」体験をたくさんしてきました。帰校した子どもたちは、一回りたくましくなっていました。「経験が人を育てます！！」実感です。



○5日 2年生 町たんけん！

2～4校時に2年生が、町たんけんを行いました。あいにくの小雨模様でしたが、元気にでかけていきました。3つのコースに分かれ、地域にあるお店や公園を探検しました。駐在所ではパトカーに乗せてもらったり、サンロードやしまむらでは、バックヤードやお店の中でお話を聞かせてもらったり、子どもたちは興味津々で見学することができました。



戻ってからは、班ごとに、学習したことを地図上にまとめることができました。いい体験でした！

雨天への対応、丁寧な説明等、ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

○6年生 着衣泳の実施！

今年度も、プールの授業を実施できました。天候にも恵まれ、各学級5回の実施を達成できたようです。

また、6年生は、水中の安全を学習するために、着衣泳にも挑戦しました。服のまま水中に入ったら、あわてず「浮く」ことを最優先することを体験を通して学びました。児童は、急な入水や浮き方等、貴重な体験をしていました。経験から多くを学んでいます！！



☆緊急提言！：「つらい」ことがあったら・・・

この頃の子どもたちを見ていて、気になることがあります。「いやなこと」や「つらいこと」を避ける傾向が強いということです。私たちが集団生活を営むとき、当然、自分の思い通りにならないことや意見を合わせなければならないことは必ずあります。そんな時、どうすればよいのでしょうか？大人たちはその立ち向かい方を見守り、励まし、**自分で解決できる力**を身につけさせることが重要です。「授業がわからない」「友達にいやなことを言われた」・・・そんな時、どう行動できるようにしていくかが、子育てのあり方だと感じます。「**自立**」を促す育て方を一緒に考えていきたいと感じています。いかがですか？